



●NEC杯「ざくっと報告」

NECブリッジフェスティバルのメイン競技会「NEC杯」は、世界ブリッジ界の中でも主要競技会のひとつに数えられるまでに発展、海外のトッププレイヤーの皆さんにも大変人気があります。今年は過去最高の48チーム、日本を含め20の国と地域から253名(NPCやスタッフを含めた登録者数)が参加しました。過去・現在の世界チャンピオンや入賞チームのメンバーがこれほど揃うとは素晴らしい！とブリテンライターが絶賛したほど豪華な顔ぶれで、試合の様子はBBOでライブ中継、例年にも増して世界中のブリッジファンの注目を集めた今年のNEC杯でした。試合の様子は、会報5-6月号をお待ちください。

参加者の中には、2009年ベニスカップを制したチャイナウイメンズのメンバー4名、2008年WMSG優勝・2009年バミューダボウル準優勝のイタリアチームのメンバー4名(彼らは今回Lavazza、Zimmermannの2チームに分かれて参加、決勝で競いました)、その他、受賞歴や逸話を挙げれば幾つ紙面があっても足りないほどのそうそうたるメンバーがパシフィコ横浜に集まりました(もちろん日本から初めて世界チャンピオンの座に輝いたシニア、ユースのメンバーも!)。JCB L会報でお馴染みのブライアン・シニアさんもKendrickチームとして来日(ちなみにMrs.シニアはEngland Ladiesメンバーとして参加していらっしゃいました)。きわめて高レベルの激戦を制したのはバミューダボウル準優勝のイタリアLavazza! フランス・イタリア・ポーランド・イングランドのトランスナショナルチームZimmermannを最終ラウンドで大逆転しての優勝でした。

キラ星のごときこれら海外チームの中で日本選手たちも頑張りました。寺本直志さん、笹平久美子さん、水田実さん、小林泰さん、田中秀悟さんに、2006年ワールドペアチャンピオン・2008年PABFチャンピオンのFu Zhongさん(中国)が加わった「SARA」が予選を勝ち抜いて準々決勝でZimmermannと対戦したのですが惜しくも敗れました。

●NEC杯参加国・地域数：20 過去最多!

アルゼンチン、オーストラリア、ブルガリア、カナダ、中国、台北、チェコ、英国、フランス、香港、イタリア、日本、韓国、オランダ、ポーランド、南アフリカ、スペイン、スイス、スウェーデン、USA

●NEC杯に登場した若い力!

世界のブリッジ界が注目するユースたちが大勢参加したことも今年のNEC杯の特徴でした。

* World Youthとして、2009年第1回ワールドユースコンGRESS(@イスタンブール)で優勝し、日本ユース界に初の金メダルをもたらした「日本-チェコ」チーム4名(三浦裕明/小池紀彰/Milan Macura/Michal Kopecky) + 後藤田俊輔君が参加。NEC杯本選初日、そうそうたる他チームを抜いていきなりの7位で注目を浴びました。最終的には1VPの差に泣き、総合10位で準々決勝出場を逃しましたが、チェコのMacura-Kopeckyペアは翌日の「横浜IMPペア」(57ペア)で見事優勝! 最終日の「飛鳥杯」で



では三浦-小池ペアが170ペア中4位、チェコペアが6位とユース世界チャンピオンらしい成績を残してくれました。三浦-小池ペアは3月にオランダで開催されるヨーロッパユースの競技会ホワイトハウスカップに特別招待されています。また、素晴らしい成績と経験を積んで世界ブリッジ界の将来を背負うプレイヤーへと成長していってくれることでしょう。

★ 3月3日、ホワイトハウスカップ(オランダ)にワールドユースコンGRESの優勝者として特別招待された三浦一池ペアの壮行会CCGを四谷BCで行ないます。世界チャンピオン「日本ーチェコ」チームとして参加する彼らへの応援をよろしくお願いいたします。

日時:3月3日(水) 18:45～

会場:四谷ブリッジセンター

参加費:一般 1,000 円 学生 500 円

※このCCGの参加費の一部は両選手の渡航費の補助に充てられます。

問い合わせ:JCBL事務局

* 優勝した Lavazza チームの一員には 2001 年若年 14 歳でゾーンチャンピオンを獲得し、後にアルゼンチン代表でバミューダボウルに出場した Agustin Madala 選手もいて、チーム全員に息子のようにかわいがられていたのが印象的でした。



* England Ladies にもユース界ホープペアがいました。Fiona BrownーSusan Stockdale ペアです。2日目第8試合、World Youth との対戦で Macura-Kopecky ペアとの勝負が決まった瞬間、ブリテンライターは他の対戦に決めていたBBO中継をこの対戦に急遽変更(ブリテンライターは試合ごとにホワイトボードに書きだされた組み合わせを見て最も面白そうな対戦をBBOライブ中継対象に選び、丸をつけるのですが、この時は書かれていた丸をさっと消してこの対戦に大きくBBOと書きました)。BBOでも「誰もが名前を知っているユースたち」と紹介されていました。結果は、女性ペアの大勝!

* JAPAN YOUTH として参加した日本の若い選手たちも健闘しました。NEC杯最終順位は 48 チーム中 36ー38 位タイでしたが、内外のトッププレイヤーの中で貴重な経験を積めたことは、今後の大きな糧となったことでしょう。

●NECブリッジフェスティバル「普及イベント」大盛況で終了!!!

ブリッジ・インストラクターの皆様、ご協力ありがとうございました!

国内最大のブリッジの祭典「NECブリッジフェスティバル」は同時に最大の普及活動の場でもあります。つまり、ブリッジをまったく知らない方、そして始めたばかりの方にブリッジの楽しさを体験していただき、好きになっていただくことが最大の目標です。今年は大成功だった昨年のプログラムをさらに充実させて臨みました。ブリッジ・インストラクターの皆様が呼びかけてくださったおかげで、広い会場は2日間とも大入り満員、来場者のニコニコ顔であふれていました。プログラムは大きく分けて3つ、①初心者大会、②ミニブリッジ体験教室、③囲碁、チェス、チェッカー、シャンチーの各団体を招待してのマインドスポーツ体験教室、です。それぞれを順にご紹介します。



●初心者大会は3種類の大会を2日間開催、計173名参加!

一昨年からはじめた「デビュタント杯」、昨年からはじめた「ビギナーズ杯△5」に今年は「ビギナーズ杯△20」を増やし、より多くの方に参加していただくとうと2日間開催しました(昨年は1日のみ。予想以上に希望者が多く、会場スペースの関係でお断りした方もいたのが申し訳なく、今回は「2日」に拡大しました)。2月6日締切りとアナウンスしていたのですがその後も連日エントリーが入り、当日会場で申し込まれる方もいらっしゃいました。ブリッジ・インストラクターの皆様が勧めてくださったおかげで2日間で計173名もの方が参加してくださいました。各大会を順にご紹介します。

●「デビュタント杯」2日間で計79名がゲームデビュー！

これまで試合に出たことがない方を対象にした大会で、皆様に「試合って怖くない、楽しいものだ」ということを体験していただき、今後どんどん各BCでのウィークリーなどに参加する気持ちになっていただくことを目的にしたものです。そのためにも3～4テーブルに1人の割合でスタッフが付いて、とまどっている方にはピックアップの書き方からムーブメントまでを手とり足とり優しくフォローする体制で臨みました。

- ① 2/12(金):50名参加(うち、会員3名／非会員47名)
- ② 2/13(土):29名参加(うち、会員6名／非会員23名)

●「ビギナーズ杯 Δ5」2日間で計72名参加！

試合に出たことはあるけれど、「オポネントにいろいろ言われて怖かった」、「何がなんだか分からないうちに終わっていた」、「緊張ばかりで楽しくなかなかった」という方を対象にした大会で、もっともっと自信をもっていただくことを目標にしました。

- ① 2/12(金):48名参加(内、会員33名／非会員15名)
- ② 2/13(土):24名参加(内、会員12名／非会員12名)

皆様、緊張の中にも楽しそうなお顔をしていっぱいしました。

●「ビギナーズ杯 Δ20」1日目－不成立、2日目－22名参加！

多少の試合経験は積んできたけれどまだ初心者、NECブリッジフェスティバルの雰囲気を楽しみたい、という方を対象に、今回初めて設置したフライトです。初日は、きっと皆様、地元クラブでゲームを楽しんでいらっしゃるのかもしれませんが。エントリーは2日目の土曜日に集中しました。

- ① 2/13(土):22名参加(内、会員20名／非会員2名)



●参加者全員に賞品を用意しました！



NECBF初心者大会への参加が楽しい思い出として残る一助になれば、と参加者全員が何らかの賞品(記念品)を手にとられて帰宅できるよう準備しました。各大会の優勝・準優勝賞品、ラッキー賞(その日の日付と同じ順位)、アベレージ賞、ブービー賞のペアには(株)オブコスメティックスから高級ヘアケア製品を提供いただき、その他、ささやかではありましたがプチ記念品を全員分用意しました。ラッピングが大変な数にのぼりましたが喜んでいただけたようで何よりでした。各大会優勝ペアには、普及事業部主催初心者大会恒例の優勝グラスを進呈しました。

●初心者大会参加者の先生の皆様へ

これら初心者対象各大会3位までの氏名は期間中のデイリーブリテンNo. 5とNo. 6にNEC杯や横浜IMPペア、横浜スイスチームの試合結果とともに掲載されました(写真も一部掲載されています)。JCBLウェブサイトのNECブリッジフェスティバルページからご覧になった方も多いいと思います。(デイリーブリテンをご覧になれない環境の方には事務局からお送りすることも可能ですのでご連絡ください。)

●ミニブリッジ体験教室

普及イベントのもうひとつの柱、ミニブリッジ体験教室。とにかく「ブリッジ」とはどんなに楽しいゲームか首都圏の各BCやブリッジ・インストラクターの皆様にはポスター掲出やチラシ配布をお願いしたほか、サンケイリビングの横浜南版／東版／田園都市版に告知広告を掲出、その他、パシフィコ横浜の周囲のイベントポスターボックスに計10枚の大判ポスターを貼りだして「ブリッジ体験教室」を大きくアピールしました。集計できただけでも約300名の方が体験してくださいました。



スタッフは初日10名、2日目の土曜日は12名で臨みました。この中には今年初めてお手伝いいただいた新人スタッフさん7名が含まれています。春に新しくカルチャー講師になるので体験教室のやり方を学びたい、初めての人にどうやって接するのかを体験したくて、という方もいれば、こういった方にこれから新人育成を担っていただければ、とお願いした方もいました。皆様、体当たり(?)でブリッジの楽しさを伝えようと頑張ってくださいました。どのテーブルからも楽しそうな笑い声が聞こえていました。

●「Let's Play マインドスポーツ!」 & 「シールラリー」 & 「お楽しみ福引」

NECブリッジフェスティバル普及イベントならではの特徴は、同じ会場でマインドスポーツ仲間の囲碁、チェス、チェッカー(ドラフト)、シャンチーと一緒に体験できることです。来場した人は受付でシールラリー台紙を受け取ります。ひとつの競技を体験するごとに台紙には1枚ずつシールが貼られていき、シールが5つになるとハズレなしのお楽しみ福引をすることができるという企画。けっこう時間がかかるのですが、42名の方がラリーを達成し、福引賞品をゲットしました。

このプログラムは2008年のワールドマインドスポーツゲームズとともに「チームジャパン」を組んだ、囲碁、チェス、チェッカー、シャンチー各団体とのコラボレーションプログラム、ともに「マインドスポーツ」の概念を日本に広め、各競技に親しむ人たちを増やしていこうとWMSG以後もこのような協力関係を続けています。



来場者にも好評で、大人も子供もいろいろな種目に楽しそうにチャレンジしていました。また、事前にデイリーブリテンで紹介したことで、ブリッジプレイヤーの姿も時々みかけました。チャイナウイメンズの世界チャンピオンペアが日本の小学生と楽しそうに囲碁を打っていたり、つかつかと寄ってきてホワイトボードに碁の局面の図をささっと書いて「これはどうやったら勝てるのか?」とプロ棋士に尋ねるブルガリアのプレイヤーの姿も…。

★チェスは2006年、ドーハで開かれたアジア競技大会にマインドスポーツの先陣をきって正式種目に採用されましたが、今年11月、中国広州で開催のアジア競技会にはチェス種目のひとつとして、囲碁、そしてシャンチーが採用され、日本からもプロ棋士が参加します。ブリッジも1日も早く採用され、日本選手団の中にブリッジプレイヤーの姿を見たいものですね。

●NECBF普及イベントスタッフの皆さま、ありがとうございました！

今年は初日 22 名、2日目 23 名の陣容で臨みました。おそろいの赤い「We Love Bridge!」Tシャツを着用した皆様のニコニコ笑顔で、広い会場は明るく楽しい雰囲気に満ちていました。お忙しい中、2日間続けてお手伝いくださった方、1日空けてくださった方、たいへんお疲れさまでした。何年も続けてくださっている方も今年初めての方も皆様素晴らしいチームワークで今年もたくさんの方にブリッジの楽しさを伝えてくださいました。本当にありがとうございました！

それぞれの部門をベテランの方たちが責任をもって担当していただき、横の連絡も大変スムーズに進行、システム的にも素晴らしい運営ができました。試行錯誤しながら回を重ねてきたことで、より実際に即した運営マニュアルもできあがりました。ブリッジ・インストラクターの皆様が独自にこのような大人数(大規模)イベントを企画実施なさる場合のご参考になるかもしれません。ご興味のある方にお送りしますので普及事業部までご連絡ください。

●次回初心者大会は、5月2日、横浜BCで開催！参加受付開始しました！！

ゴールデンウィークの5月2日、横浜ベイブリッジフェスティバルの一環として『ビギナーズ杯△5MP&△20MP』(普及事業部主催)を横浜BCで開催します。NECBFでの初心者大会に参加された方、都合で参加できなかった方などにお声をおかけください。

当日は、同じ時間帯にミニブリッジイベントの「ジュニアサロン」や「横浜 mini ベイブリッジフェスティバル杯」(ミニブリッジのゲーム。大人も参加可)を開催しますので、ジュニアだけでなく、ミニブリッジが初めて、あるいは覚えてたといった大人の方も同じ会場で遊べます。ご家族やお友達と一緒に楽しいひと時を過ごしませんか？と生徒さんやお知り合いへのご案内をよろしくお願ひします。

●ブリッジ普及・PR用に新しいパネルを3種つくりました！

◎「ブリッジと脳」パネル

ブリッジと脳の研究発表をわかりやすく表した2枚セットのパネルです。「記憶力」に焦点を当てた、中高年世代向けの内容です。

タイトル①:いつまでも頭脳明晰であるために！－ コントラクトブリッジは、大人の『脳力』トレーニング！

タイトル②:コントラクトブリッジが記憶力増進に役立つ可能性が、実験結果として認められました。

◎世界チャンピオン誕生パネル

日本ブリッジ界2部門で世界チャンピオンが誕生したことを記念してのパネルです。世界ブリッジ界における日本プレイヤーの位置付け(「こんなにすごい！」)を表す目的で制作しました。選手の氏名を記載しています。

タイトル③:日本のブリッジ史上初の世界チャンピオン誕生！！(注:2008年シニアチーム紹介) ユースチームも世界チャンピオンに！！(注:2009年「日本一チェコ」チーム紹介)

イベントなどで展示を希望される方にはフレーム付パネルを貸し出します。また、気軽にどこにでも貼れるポスター版をご希望の方はご連絡ください。A3、A4、B4サイズ版をプリントアウトしてお分けすることもできます。ご相談ください。

●慶應大学ブリッジクラブ復活！

久しぶりに慶應義塾大学ブリッジクラブが復活しました。2007年のスクール日本代表としてPABFバンドン大会に参加したユースプレイヤーが、昨年同大学に進学して復活させました(本人は「誕生」と言っていますが)。塾員の皆様、あるいは同大在学中のご家族、ご親戚、お知り合いをお持ちのブリッジ・インストラクターの皆様、「慶應にブリッジクラブができた」ことのPR等、側面支援をいただければありがたく、よろしく願いいたします。

ちなみに、現在、大学のブリッジ部(もしくは指導者やユース会員のいる大学)は、北から北海学園大学(札幌)、東北大学、東京大学、早稲田大学、学習院大学、東京理科大学、慶應義塾大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学となっています。ブリッジ界の将来のために、ユース層拡大へのご協力をよろしく願いいたします。

●ACBLブリッジ入門講座『続 21 世紀のコンベンション』発売！

昨秋刊行されたACBLブリッジ入門講座『21世紀のコンベンション』の続編となる『続 21 世紀のコンベンション』が2月18日に発売されました。

『21世紀のコンベンション』では主として、オープンとレスポンスに関わるコンベンションを取り上げていました。続編ではコンペティティブ・ビッドに関わるコンベンション(ネガティブ・ダブル、その他のダブル、オーバーコール)とスラム・ビッドに関わるコンベンション(ブラックウッドとガーバー、キュービッド)を取り上げています。その他、リードとシグナルの約束や2オーバー1についても解説されています。

豊富な例題、練習問題、実習ハンドで、独習・講習会のいずれにも最適な教科書としてお使い頂けます。

JCBL商品部、横浜ブリッジセンター、大船ブリッジセンターで販売しておりますので、どうぞご利用下さい。

書名:『続 21 世紀のコンベンション』

(ACBL Bridge Series “More Commonly Used Conventions in the 21st Century”)

訳者:桐山千里 日本語版監修:山田彰彦

A5版 424頁 定価:2,000円(税込み)

●最近の主な新聞掲載

1/12 朝日新聞(全国版)…朝日新聞社杯結果

2/10 ヘラルド朝日(英字紙)…NECブリッジフェスティバル(NEC杯写真付)

●JCBLデータ：地域別会員・会友動向(2010年2月15日集計)

地域別会員・会友数を2009年2月15日時点での会員・会友数と比較してみました。()内は増減数。

- ・北海道地方:62名(+6名)
- ・東北地方(青森県、秋田県、岩手県、山形県、宮城県、福島県):121名(+3名)
- ・北関東地方(群馬県、栃木県、茨城県):118名(-3名)
- ・首都圏(埼玉県、東京都、神奈川県、千葉県):5,698名(+73名)
- ・甲信越地方(新潟県、長野県、山梨県):16名(+3名)
- ・北陸地方(福井県、石川県、富山県):63名(-3名)
- ・東海地方(岐阜県、三重県、愛知県、静岡県):329名(+5名)
- ・近畿地方(兵庫県、京都府、滋賀県、大阪府、奈良県、和歌山県):482名(-7名)
- ・中国地方(山口県、島根県、鳥取県、広島県、岡山県):47名(-2名)
- ・四国地方(愛媛県、香川県、高知県、徳島県):45名(+1名)
- ・九州/沖縄地方(長崎県、佐賀県、福岡県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県):155名(+43名)
- ・海外:118名(-24名)